



田村 計久

町長は次期に立候補するの

質問

湯沢町は厳しい経済状況の中にある。町民の多くは町の将来像が見えず不安に思っている。

町の長期財政計画を見ても今後も財政にゆとりはない。南魚沼市に対する負担金も施設の建設計画が続き今後さらに増えることや、湯沢中学校の建設、小学校の統合による校舎の新設など課題は多い。

しかし、町民に対し少しでも夢と希望を持ってもらうための努力と姿勢を示すことが必要であり、今まさにその手腕が問われている。町長の任期は12月であるが次期について町長の考えを伺う。

町長答弁

財政難の中、行財政改革に取り組んできたが、多くの課題がある。後援会とも相談し、この難局をのりきるための努力をしたい。観光産業の安定と、新たな産業の誘致など職員一体となって取り組む。次期について立候補したい。

美術館建設について

質問

13回519点の童画を抱え、いまだに美術館の建設が検討されていない。基金1億500万円の予算で童画の町湯沢の核として、町づくりを進めるためにも建設すべきと考える。大きな建物はいらぬ。个性的で今後とも続く全国童画展の殿堂として、これまでの参加者の

こころのよりどころとなり、町民に強く文化を意識してもらうためにも建設すべきである。

町長答弁

財政の問題と建設場所や町民の考えも聞き、川上四郎童画展の火を消さないように取り組むが、今はその状況にない。

町有遊休地について

質問

ノリタ跡地購入費用他約14億円、上中子宅地分譲地域購入費他10億円。大きな予算を投入したがまったく利用されていない。町民有識者など知恵を結集して取り組むべきで、条件整備をするために企業誘致のための減免措置を含め、条例化する必要があると思うが

どうか。

町長答弁

町民の夢を買った。これらの土地については大きな課題と考えるが、職員の中でも問題意識が低いように思う。ノリタ跡地については引き続き誘致をすすめるが、中子の宅地を誘致企業に利用してもらうのが理想と思う。

あわせて町民有識者のご意見もいただきたい。

バイオマススタウン構想について

質問

バイオマススタウン構想の取り組みは早かったが、いまだその実態が見えない。全国209自治体、県内9市2町それぞれ取り組みがされている。湯沢町は今後どの

ように進めようとしているのか。

町長答弁

バイオマススタウン構想の発表は早かったが、現在さらにその内容を検討、勉強している。生ごみの堆肥化については、強く進めるために視察も考え、皆さんにも検討してもらう。今後はスピードを上げて取り組みを進める。



遊休地の有効活用を促進せよ(中子分譲地)

中学校の建設、統合による小学校校舎の新設、町有遊休地などの課題に対してどう考えているか

一般

質問

質問